

「第 23 回スポーツ環境会議」議事録（要旨）

令和 6 年 5 月 17 日（金）14:00～16:00

本庁舎 6 階 第 2 委員会室

1 出席者

1	岡 浩一朗（学識経験者）	14	加賀美 秋彦（新宿未来創造財団事務局長）
2	神田 隆弘（区スポーツ協会）	15	鈴木 史博（生涯学習スポーツ課長）
3	奈良 和子（区スポーツ推進委員協議会）	16	神崎 章（新宿未来創造財団等担当課長）
4	金子 和子（区レクリエーション協会）	17	渡辺 隆介（障害者福祉課長）
5	田中 稔（区町会連合会）	18	袴田 雅夫（地域包括ケア推進課長）
6	村上 光一（区高齢者クラブ連合会）	19	濱野 雅子（子ども家庭課企画係長）
7	藤原 千里（区障害者団体連絡協議会）	20	小林 和章（みどり公園課公園管理係長）
8	只野 純市（区青少年育成委員会）	21	齊藤 正之（教育調整課長）
9	武内 隆則（区小学校 PTA 連合会）		
10	平田 知子（区中学校 PTA 協議会）		
11	下村 扶美子（公募委員）		
12	南 滋文（公募委員）		
13	新谷 太郎（スポーツ関連事業者）		

欠席者 4 名

橋本 純（区スポーツ推進委員協議会）※代理出席あり

徳永 創（子ども家庭課長）※代理出席あり

菅野 秀昭（健康政策課長）

小菅 健嗣（みどり公園課長）※代理出席あり

机上配付資料

資料 1 新宿区スポーツ環境会議設置要綱

資料 2 新宿区スポーツ環境会議委員名簿

資料 3 新宿区スポーツ環境整備方針の改定について

資料 4 新宿区スポーツ環境会議での主なご意見と区の対応

資料 5 新宿区スポーツ環境整備方針 これまでの取組み

資料 6 新宿区スポーツ環境整備方針（素案）案 要約版

資料 7 新宿区スポーツ環境整備方針（素案）案

資料 8 新宿区スポーツ環境整備方針改定スケジュール

資料 9 （情報提供）子ども団体の減額制度のお知らせ

資料 10 （情報提供）遊びの達人養成講座のお知らせ

2 事務局

新宿区 地域振興部 生涯学習スポーツ課

3 会議内容

(1) 開会

(2) 地域振興部長あいさつ

スポーツ環境会議の委員の皆様、お忙しい中、今日はお集まりいただきまして誠にありがとうございます。本日は、スポーツ環境整備方針の素案というものをご用意させていただいております。これは昨年度スポーツ環境調査というのをやらせていただきまして、現在のスポーツ環境整備方針の見直しをかけるということで、この間、皆様から貴重なご意見賜りまして、それを踏まえて策定したものでございます。この後、ご意見賜りながら修正をかけながらより良いものに仕上げていきたいなというふうを考えておりますので、忌憚のないご意見を頂戴いただければというふうを考えておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

また、新宿区のスポーツ振興に向けていろいろな情報交換等についても、この会議の中で引き続きよろしくお願い申し上げます。スポーツの力で新宿のまちを元気にということで今年も行っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

(3) 新宿区スポーツ環境整備方針（素案）の作成について

・生涯学習スポーツ課より資料説明 資料3～8

<質疑応答>

【南委員】

全般拝見して非常によく作っていただいているなと思いました。

少し付け加えと言いますか、こんなことが入っていたらいいなというのは、基本施策の1と2、誰もが気軽にとか障害者がということではゆる多様性も含んで、みんながということだと思いますが、ひとつの視点として、外国籍の方の視点があってもいいかなと思ってまして、新宿区は10%以上の方が外国籍の方ですので、全部が全部、英語にしたりとか、中国語にしたりとかは難しいと思いますが、素案の中にそういった視点が入っているとよりいいかなと思いました。

【区障害者団体連絡協議会】

具体的な動きが少しわかるといいかなと思いました。私の中では理想的にすごく幅広く、網羅してくださっているので、ある意味、これが全部実現したらすごいことになっちゃうだろうなって、期待感も大きいです。ひとつひとつの具体案みたいなものをぜひ期待したいと思ってます。

【生涯学習スポーツ課長】

ありがとうございます。方針ということで、理念や取組の方向性も記載していますが、裏打ちされている事業ももちろんございますし、なにより委員がおっしゃったように具体的に取組みを進めていくところが肝心かと思いますので、しっかり取り組んでいきたいと思います。

【区スポーツ協会】

今説明を受けて感じることは、やはり施設整備、環境整備というのは、いろいろ石段を上がっていかなくちゃできないと痛感したところです。今日お集まりの皆さんもいろんなコミュニティからお越しいただいてある程度共有してから、一個一個、区として進めていくんだというのは非常に感じております。私も屋内と屋外、それとラジオ体操とかダンスとかいろいろあるんですね。それも含めてスポーツ協会を形成しています。外国籍 13%弱でしたか、だから新宿区民、新宿に住所がある方々が中心になるということは、当然 100 人いれば 13 人外国の方が加わります。

【生涯学習スポーツ課長】

多様性の視点については、盛り込んでいきたい、検討していきたいと思います。

【区青少年育成委員会】

地域で区民のレクリエーションのお手伝いを審判を含めてやっているんですが、私の所属する角筈地区は範囲が狭い分、体育指導員の方がだんだん減って、今ほとんどいないような状態になってまして、隣の地区から審判なんかはお願いしてる状態なんですけど、もっと競技する人を支える、ルールとかちゃんと習得した指導員みたいな審判やってくれる人が増えればいいなってことを今、大変切に思っております。

【区スポーツ推進委員協議会】

今の意見ではないんですけども、私は、新宿区のスポーツ推進協議会に入っておりますが、5 年度、6 年度、2 年 1 期のこのスポーツ推進委員は、定員の 42 名が地区に回ることができましたので、今まで 36 名の総数で行っていたんですけども、今度 42 名がスポーツ推進として区の中で活躍、動けることになります。各地区、2 名 3 名は常時、皆さんと一緒にスポーツ活動の審判なりをできるように頑張っていきたいと思っております。

素案については、17 ページのところでは調査したというのを見てるんですけども、ここのスポーツ意識調査のところなんですけど、東京都よりも新宿区は少なく、国よりは上がってるということで、私たちスポーツ推進もスポーツ実施率を上げようって 60%に上げようというのは動きをしてるんですけども、この新宿区でこの調査をしたのは、区民の全体の何パーセントで出たのかなというのを聞きしたいですか。

【生涯学習スポーツ課長】

今回のスポーツ意識調査ですけども、調査対象は 2 つありまして、18 歳以上は 8000 件で、また小学 5 年生および中学 2 年生については 3000 件、合わせると 1 万ぐらい、今 30 数万人いますので、概ね

それぐらいの割合で調査させていただいた結果になってございます。

【区中学校 PTA 連合会】

e スポーツというのがやっぱり、昨今、子どもたちの中でも学校に来れなかったりした子が e スポーツなんかに取り組んでいるというのを耳にするので、こういった取組が記載してあるのはとてもいいことだなというふうに感じました。

違う話ですけども、西早稲田中で校庭改修が今年ありまして、その際に学校施設、校庭が使えないので、いろんなあらゆるところに問い合わせをして、なんとか確保されたようなんですが、校庭改修で、いざ体育をやる場所がないといったときに、もう少しスムーズに問い合わせ先が一本化されてあるといいと思います。体育が好きじゃない子も唯一取り組めるのが学校体育だと思いますので、そのあたりも含めて、今後ご検討いただけるといいなというふうに思いました。

【区町会連合会】

町会の会員自体もかなり高齢化してまして、スポーツということに関して、興味をなくしているというとおかしいですが、体を動かすのはちょっと億劫だとなってくる人が多いので、そういった人たちに少しでも体を動かすことを、目指していきたいなと思っています。町会連合会は月 1 回あるんですが、その中で健康講話というのが必ずあります。各病気に対しての予防とか、そういうことの講話を聞くんですけども、病気の予防にもやっぱり体を動かすことが必ず出てきますんで、どこ行けばこんな体操ができるということは、いろんな広報とか出てるんですけども、それを周知するというか知らせること。町会としても大切なことなのかなと思って、今、実践しているところです。

【区高齢者クラブ連合会】

グラウンドゴルフを年 2 回、戸山の公園運動場でやらせてもらっているんですけど、テーブルが物置に何 10 台置いてあるんですけど、もうボロボロなんです。もう足がガタガタで、それをコズミックが管理してることは分かっているんですけど、そういう備品のチェックとか、いろんなところの施設にそういうのはあるんで、どこへ確認したらいいか、どこへ行ったらいいのか、分からなくて、今のところ何もしてなくて、うちの方で揃えたものを出したりしてるんですけど、備品というのは新宿区の方で、何年か 1 回チェックして、購入する等はあるのですか。

【生涯学習スポーツ課】

備品は新宿区の物と、あと各団体さんが持っている備品が若干あるようです。区の備品に関しましては、令和 4 年度及び令和 5 年度で半分ずつ新しいものに購入させていただいておりますので、今現在は新しいものがあるかと思います。

【区高齢者クラブ連合会】

そういうことであれば、また確認をお願いします。

それでもうひとついいですか。老人は地域性が狭くて、例えば地域センターに行くにはバスで乗り継いで 2 駅 3 駅あると来ないというような状況が絶えず続いている。その老人がこの間のコロナ以降、非常

に体力が落ちてます。もうだいぶ前ですけど、大学で勉強させてもらった時に、体力テストをしてもらって、老人が自分の体力がこんなもんなのかというのがあったんです。だから施設に体力テストを年に何回か呼んでいただいて、実施をするというようなことができればいいなと思っています。

ゴルフグラウンドはおかげさまでいつも 45 人しか来ないのに、今回は 70 名も来て、元気な人は意欲は間違いなくあるので、今度の 21 日のグラウンドゴルフも 240 名ぐらい来ますので意欲はあるんですけど、体力の落ちてる人もたくさんいると思うので、その辺を考えたいなというふうに思ってお話をさせていただきました。

【下村委員】

スポーツの力で新宿の街を元気にというスポーツ環境整備方針が今まであったというのは、ずっと住んでるんですけど、知らなくて、丁寧にスポーツでどういうふうに活気づけていこう。皆さんと体力づくりをしていこうというものがあるんだなと、関わってはじめて知ったというのもありまして、こういうふうに理念を持って、スポーツへの取組がされてるってことを、何かの形で区民の方によく分かってもらえる、伝え方というの、何か新たにあったらいいと思います。新宿区いいなと思ってもらえるとか、スポーツにも関わってみようという情報のひとつのツールにもなるのかなと思いました。

この委員にならせていただいて、区にこんなにたくさんスポーツ施設があるんだと知った部分があって、西戸山公園の野球場のというのは見たらわかりますし、友達とも借りれないとか人気の施設もあるんですが、全く使われてないのかしらというような、施設とか、グラウンド、いろんな普段見ない施設、例えば、江戸川の河川敷とかどういう感じなのか分かりませんが、そういうところも区の施設なんだというふうに知らない方も多いと思います。スポーツをやってみようってなった時に、どこでやれるのか、どうしたら借りられるか、ということをもう少しわかりやすく、明確になると高齢者の方が「サークルか何かでも使ってみよう」とか、大学生が「こういう広いところ使えるんだったら借りよう」というような流れにもなるのかなと思うので、今稼働率が低い施設とかがありましたら、スポーツを企画してみると、そういう新しいものがあつたらより良く、このスポーツの幅が広がるのかなと思いました。

あと、私も外国籍の方とよく触れることが多いので、日本人の方でも知らない情報の中で、やはり言語の壁というか、言葉の壁もあると思いますが、平等に区民ということでスムーズに借りれたり、情報が受け取れるような環境を進めていただけたらと思います。

【スポーツ関連事業者】

基本施策 5 の 1 の交流の場や、機会の充実によるコミュニティの醸成とありますけど、その部分に関して、昨今、単身世帯が増えているということで、横のつながりは非常に希薄になっている状況で、やはりスポーツをやるか悩んでるけど、コミュニティができれば、その背中を押して総人口が増えるんじゃないかなと思っております。弊社の方で、昨年女性のスポーツ実施を増やすために、アンケート調査の方を世界 40 カ国対象に 2 万 4 千人にしまして、その中でも女性の 1/3 の人がインフルエンサーは有名人ではなくて、身近な人、近い人という調査結果が出ておりますので、そういったコミュニティを作っていくことは非常に重要だと思っております。

【区小学校 PTA 連合会】

素案の中のこのアイコンは、見やすくとてもいいと思います。資料の4のところで、今年の1月の会議の時に誰とスポーツやるかという時に1人でやる人がすごく多かったということがありました。実際にウォーキングとかスポーツをやる時1人ですよ。スポーツ推進委員にもらったんですけど、四谷でいろんなことやっていらして、こういうのもすごいよくできてるなと思ったんですけど、敬老会とか老人会とか、柏木という白友会でグラウンドゴルフとかって、どこかに属している方、町会に参加されてる方はいいかもしれないんですけど、こういうところに1人でも楽しめますよというようなアイコンを入れたりしてもいいのではないかな。実際、1人で来ても受け入れてくださると思うんですけど、実は敷居が高かったりして、知らない人じゃ嫌だよなという人は、なかなか来ないと思う。なので1人でも楽しめますというようなところを入れたらどうかと思います。

【生涯学習スポーツ課長】

ご意見ありがとうございます。この方針の中に書き込むのがいいのか、実際に事業の中でそれぞれ行っていたりもします、町会ですとか、あと関係団体さんと連携している取組もありますので、その中で発信していくのがいいのか、少し検討してみたいと思います。

【区レクリエーション協会】

せっかくいい素案作ったとしても、その担当部署は発信するんですが、受けた方が同じく発信してくれればいいのに、例えばどこかの課がこういうことをやりますって、どこかの地域交流館とかに発信しますよね。そこで置いてるだけなんです。この時にこれをさらに地元の方に広めてくださいねという言葉は言っているのだろうかっていつも思います。いろんなことやってるんですが、それが末端まで行かない場合が結構あるような気がします。それはせっかくいいものを作ったら、それが隅々まで行き渡るように、その努力も並行してやっていきたい。やっていただきたいというか、お互い様ですけど、そう思います。

【学識経験者】

私の方から2つご意見を言わせていただきたいというふうに思っています。

前回、意見したと思うんですけど。この取り組みに新宿らしさはどこにあるんですかという意見をしました。そういうことを考えると、今日いただいた意見の中に、例えば13%も外国籍の方がいらっしやる。それって明らかに新宿区のすごい特徴なんだと思います。ですから。そういったところをうまく中に反映をしていただく。やっぱりどこの区、あるいはどこの市も同じように計画を立てていく中で、新宿だからこそというのはすごく大事だと思っていて、むしろほかの区のお手本になるようなものであってほしいなと思ってます。そこにこだわって、委員の方々も新宿にお住まいの方もいらっしやると思いますので、いろいろ新宿らしさという意味でご意見を伝えたらいいんじゃないかなというふうに思いました。それが一点でございます。

それから、もう一点、この全体の骨子に関しては、非常に私もよくできていると思っていて、やはりずっと調査をかけて、それぞれ課題を抽出して、どういう対策をしていくのかと、これをどう具体化して事業として、あるいは政策として展開するかってのは、また少し別の問題かもしれませんが、この

素案としては、すごく良い。

私の意見ですが、この会議の中でウェルビーイングという言葉、それにこだわりがありました。それをこういうコラムという形で入れていただいたというのは、すごいよかったなと思っています。

あとeスポーツのコラムがあり、今のところコラムが2つ入っていたと思うんですけど、もっとコラムがあっていいんじゃないかなって思いました。例えば、新宿区が考えている「みる」とか「支える」とかというのはスポーツにすごく意味があって、それがすごくいいことなんだよってことをもっと強調するようなコラムがあったらいいなとか。先ほど1人でも楽しめるということもありましたけど、一方でスポーツの良さというのは、人と人が一生懸命いろんなところで交われるというソーシャルキャピタルの醸成という部分で、すごく意味を持ってるものだと思いますので、そういうことを何かコラムとして。私自身の仕事から考えますと、私は座りすぎがダメだという研究をずっとやってるんですけど。これがこの会の時に言ったかもしれないですけど、スポーツをやってもみんなそれ以外の時間は座ってるんです。そうすると、せっかくやったスポーツの意味というか、効能も最大化されないということもあって、そんなことも考えるんだよというような。それはコラムだったら許されるのかなと思っていて、スポーツやったんだから、もっとアクティブに生活しよう、家に帰ってずっと座ってるんじゃないよみたいな、そんなメッセージを出していくと、これは絶対そうしろというわけではなくて、ページ数のこともあると思いますのでできれば、そういうトピック的なものを、設けてもいいのかな、もう少し増やしていいのかなというふうに思いました。

4 各団体（個人）におけるスポーツ環境や活動に関する情報提供

【区スポーツ推進委員協議会】

スポーツ推進協議会からです。令和6年度で新しくスポーツ推進が42名委嘱されました。今は会長を中心に各地区の方で動いてまいります。8月にスポーツ推進が主催します、小学生ボッチャというのを8月25日の日にコズミックセンターで行うことになっておりまして、各小学校にご案内をするんですけれども、今そのご案内をするのをどのような形でやろうかということを模索しております。昨年、第1回目の時は20チームほど集まりまして、うまく運べたんですけども、今回もだいたいそのぐらいで集めたいんですけど。今色々模索しながら考えている途中ですが、8月25日小学生カップをコズミックスポーツセンターでありますので、もしお時間がありましたら見に来ていただければと思います。

【区小学校PTA連合会】

卓球大会が1月21日にありました。前回の会議の時には、バレーボールを報告したんですが、なかなか単独チームができなくて連合チームが優勝したんです。卓球の方は単独チームばかり、14校で17チーム、戸塚第一小学校が優勝しました。

それからクリアソン新宿さんに事業協力いただきまして、ホームゲームということで、2月と4月にホームゲームに招待されました。それから、授業の一環として4月7日、国立競技場でFC東京さんの提供で、無料で鹿島アントラーズの試合を見ることとなりました。

それから今週日曜日にわんぱく相撲があります。

柏木小学校の方なんですけれども、課外の部活動がスポーツの方で、バスケット、バレー、ダンス、サッカー、陸上です。それからボッチャはコーチをスポーツ推進委員がなっていて、本当にご協

力ありがとうございました。

【区レクリエーション協会】

6月16日に戸塚地域センターでアイスブレーキングの講習を行います。今年はじゃんけんに特化したものをたくさんやろうかと思うんですけど、じゃんけんってやるとサッカーだって野球だってできるんです。そういうのをやりたいなと思ってますのでもし興味のある方はぜひお越しください。

それから、昨年1月にも北特別支援学校で、障害のある方もない方も一緒にレクリエーションスポーツ教室というのをやってるんですが、ボッチャはうけるのも当たり前と思ってるんですが、この間やったフォークダンスがうけるんです。車椅子の人にやりたい？って聞いたらやりたいって言って2人入ってきました。そんな感じでアクションがあってもなくても、一緒にできるスポーツというの、レクリエーション協会では勉強しています。秋のレクリエーションフォーラムにつなげたいと思ってやります。今度はペットボルのサッカーボーリング、クリアソンがやっている。あれが面白いといったら東京都の方がやってほしいという話になってきて、できればクリアソンと一緒に紫のユニフォーム着てもらった方が会場が盛り上がるねという話があります。こーか月の話なんですけども、ぜひそういうことで、クリアソンの人に一緒にスポーツしてもらおうと、子供たちが元気になるって話を伺ったので、すごく心に残ってまして、ぜひ新宿のチームですから、どこかいろんなところでそういうのを紹介していきたいなと私も思ってます。

【区障害者団体連絡協議会】

一昨年、クリアソンがJFLのカテゴリに上がった年から新宿区障害者福祉協会がパートナーシップを結ばせていただいてまして、それまではサッカー観戦、団体競技を観戦する、車椅子の子供たちが観戦するという経験がほぼない子たちがクリアソンが配慮をしてくださるおかげで、例えば国立競技場に駐車場を用意していただくとか、あとはエレベーターの乗り降りを首都医校さんと一緒に共同でサポートしてくださったりとかいろんなところの連携が進んでいるので、最初の年よりも去年、去年よりも今年と、どんどん参加者とか経験者が増えているので、そういったところでクリアソン新宿さんがハブとなって、サッカー以外のことが着実に広がっているなというのは少なくとも、障害者団体の中ではとても大きく、響いているところなので、それがだんだん高齢者の方であったり、町の方であったりというのは浸透していったんじゃないかなとは思いますが、そういったことももう少し共有できたらいいなというふうに思ってます。

【区レクリエーション協会】

いきいき体操のサポーターをしてるんですね。普段はささえーる中落合というところで週1回、地元の皆さんとやってるんですが、参加者の中の1人の方が自分はやってとても良かった。私の子どもが働いている、障害者施設というんですかね、ところでもやってもらえないかというふうに聞かれたんです。やってやれないことはないけど、続かなかつたら困っちゃうので、皆さんに協力してもらおうと思って、サポーター4人とそれと担当部署の高齢いきがい係の方と相談して、じゃあ4、5回行って、あとは自立して自分たちでやってもらえるような方向に持っていきたいというような感じで、4月になってからやってみました。それで高田馬場福祉作業所というところに行って、向こうの方はお昼休みの時に

体操したいと、大変だと思いながら3回やったんですけど、最初に来る方は働いてらっしゃる軽度な方達で来た方は意欲があって覚えたらお父さんに教えてあげろんだという話をしてくれるんですね。その次は重たい方が来て。それでもなんとか一緒にやろうという意欲が見えました。三番目の一番重い方でもそこに来てくれるだけでもいいのかなと。体操してるんだと意識が芽生えるだけでもいいのかなと、とてもいい経験をさせていただきました。それを毎回やるわけなんですけど、私たちが毎回行くわけにもいけないので、いきいき体操にはDVDがあるんです。これを使って自分たちでやってくださいという形に持っていきたかったんで、その担当の方に覚えてとは言わないけど、一緒にやってくださいという形でいいと思うんです。音楽がかかれば間違えようが、何しようが構いませんから、毎回その定期的にやった、1週間に一回ずつね、ぜひやってくださいって最初はとても嫌がったんですけど、ただ、その次から自分たちでDVDでやったら、この間、高齢者担当の方にお礼の電話来たそうです。やれたということですよ、自分たちでそれなりに。だからこういうふうになれば、障害のある方のスポーツ実施率が増えるんだと私は思いました。だから、今後そういうふうはどうやってできるかなという視点も、私たちが持っていけばいいかなと思ってて、高田馬場がこれでうまくいけば、他にもいっぱいあるじゃないですか。そういうところもやってくださるのかなというふうに思いましたので、今日お話しさせていただきました。

【区スポーツ協会】

スポーツ協会でありながら、一団体の会長としてお話をさせていただきますと、うちの代表チーム、クリアソン新宿ですが、6月7日に新国立3回目になりますが、新宿の日という形で開催をさせていただきます。これは進めていく中で、今クリアソン新宿は、皆さんにだいたい認知をいただきまして。ただ、もともとはサッカー協会というのがございまして、いかにこの新宿らしさができるか、多様性の中で事件とか問題を起こすのもスポーツを通してひとつのつながりがあることによって、それも減らせるんじゃないかということから始まったんですよ。私もまだ現役でサッカーというスポーツをやっておりまして、そんな中で自分が何ができるかということで、障害者の皆さんにもやっぱり見るとか応援するかというのが一つの希望になってもいいかなと。だからよく車椅子で来られる方、必ず声かけさせていただいております。そういう優しさがこの新宿に非常に必要なんだろうなと。

私もカテゴリーの中で社会人というのがあって、そこにはですね大会にいろんなチームが出てくるんですね。その根本にあるのは、地域との連携による人づくりまちづくりの原点をスポーツを介して少しでも演出できないかというのがベースにありまして、スポーツ業界内でもこういう話をたくさんしてですね。約2万人の選手がいるということはそのご家族がいると4万、6万、その卒業生とか、また新しい人が入るといって、どんどんそういうスポーツ環境で、子どもにはクリアソン新宿がトップチームにJに上がれば、ホームグラウンドは新国立、新宿ってクリアソンのホームタウンだよなというひとつの目標、自分はそこを目指そうと思っている。それがプライドと誇りにもなるだろう。なぜに新宿でサッカーなのというのも随分有識者の方からも言われたことがあったんですけど、面白い切り口になった。昔、敬老会とか、ご年配の方はカラオケとかゲートボールとかで楽しんでいたのが、ホームゲームをいついつあるよとかで、この日に、サッカーボウリングに来るんだとか、そういうね。ただそれがなかなか、新宿区内に認知をされてないのが現状でして、それもやっぱり努力をしていかないといけない。

【生涯学習スポーツ課長】

情報提供でございます。この4月から子どもの減額制度が始まりましたのでお知らせさせていただきます。子どものスポーツ活動を支援するための取組ということで、子どもが在籍している団体に対して区立スポーツ施設の貸切利用料金と付帯設備利用料金を1/2減額するといったものでございます。対象施設はこの記載のとおり、区内では新宿コズミックスポーツセンター、新宿スポーツセンター、大久保スポーツプラザ、屋外の方もご利用いただけます。減額要件はこちらに書いてあるとおりでございます。

【地域包括ケア推進課長】

昨年度の令和5年度で新宿いきいき体操が15周年を迎えまして、それを記念しまして体操のCDを天童よしみさんの歌で、リニューアルをいたしました。それを記念して3月3日に東急ミラノ座を使ってお披露目を兼ねた天童さんのミニコンサートをやらせていただきました。また同日に、その前のシネシティ広場でいきいきフェスティバルというのを行いまして、そこでいきいき体操のサポーターの方とクリアソン新宿さんにご協力いただいて、フェスティバルを実施いたしました。今年度は、区の体操として、このいきいき体操も幅広い世代、多様な主体、外国人の方とか、障害者の方とか、そういった世代の方に向けてPRを進めていこうというふうに考えているところでございます。

【教育調整課長】

日頃から児童生徒の健全育成にご協力いただきましてありがとうございます。昨年度から中学校の部活動に関しましては、事業者による指導員の派遣という事業を行っています。昨年度は30部活で実施をしていたものを今年度から倍の60の部活動に指導員を派遣するということで、拡充を行っております。この対象となっている中には小学校の金管バンドだとかそういった吹奏楽につながるところにも派遣をしています。また、美術だとか茶道だとか、文化系の部活動にも指導員、スポーツだけではなくてですね、そういったことで拡充をしています。意欲を持って部活動の顧問をされている教員の方々もいらっしゃると思いますので、すべてを行っているわけではないんですが、ただこういった一部を委託化することによりまして、子どもたちも部活動の質、専門的な技術が高い方に指導が受けられるということ、また顧問教員についても、部活動の指導にあたっていた時間を指導員が入ることによって、別の公務に時間を振り分けることができるとか、あるいは土曜や日曜日の遠征、大会等の参加の時にも指導員がついてきてくれますので休暇を取ることができるという、働き方改革の一端を担っていただいているということがございますので、引き継ぎこの取組については充実をしていきたいと考えているところでございます。

【新宿未来創造財団事務局長】

当財団ではコズミックセンターをはじめ、大久保スポーツプラザ、いろんな運動施設を管理させていただいております。スポーツ関係の事業としては、区の補助いただきながら、あるいは財団の独自の自由事業という形で展開させていただいておりまして、イベント的なものは年に何回か大きなイベントをさせてもらいまして、その時はスポーツ協会さんであるとか推進委員の皆さんのご協力いただきながら、いろんな区民向けの体力測定であるとか、イベント等をさせていただいておりますが、日頃気軽にでき

るイベントという形としては、ホームページでもご紹介をさせていただいてますけども、レガスポというのをやってます。39 講座をやってみて、ヨガであるとかチューブでトレーニングであるとか気功であるとか、骨盤体操とか、ボイストレーニングもあり、様々な気軽にできる講座をやっております。それからプール開放もさせていただいておりますし、木曜日は卓球台の時間貸しをしております、これはかなり人気がある開放事業になっています。

あと外国人の方が多いという話も出てましたけども、当財団ではホームページで 120 カ国以上を対応している形になりますので財団のいろんな施設であるとか、施設案内であるとか、あるいはそのイベント等について、それぞれの言語を選択することによって、内容がわかるような仕組みを作っております。

それから昨年度から財団で行っているイベントをカレンダー形式で表示しており、イベントをクリックしていただくと、細かいページに飛んでいくというような形で、なるべくわかりやすいような作りをしております。

それからクリアソンさんについては、財団のホームページにクリアソンのリンクを貼らせていただきまして、試合の日程であるとか、チケットの購入とか、様々な形で協力させていただいております。

財団のホームページをご覧になっていただくと、財団が何をやってるか、どういう施設を管理してるのか、どういうふうに申し込みすればいいのかが細かく出ておりますので、是非ご覧になっていただければと思っております。よろしくお願いいたします。

(5) その他

特になし

(6) 閉会